

えん罪・仙台 北陵クリニック事件

守大助さん面会記

2011年10月 千葉刑務所 NO・38

激励先 〒264-8585 千葉市若葉区貝塚町192 守大助さんへ

10月の面会日は3日、14日、24日
11月の面会日は14日、20日、26日
面会申込は救・神奈川県本部 050-3310-1368 fax045-663-7953
e-mail kyuenkai-k2@clock.ocn.ne.jp
発行:救・千葉県本部Tel043-251-7351 fax043-251-4159
E-mail kyuen-chiba@kc4.so-net.ne.jp

◆9月14日(水)高橋、磯田、金子 (救鎌倉)

残暑厳しい中、大助さんに会いに初めて刑務所に来ました。面会手続きは救千葉の人たちに協力して頂きました。面会待合室まではスムーズにきましたが私のハガキが見つからないとか、入浴中とかで1時間くらい待たされました。

昼から風呂?と思いましたが、それは堀の外の感覚。刑務所では入浴も「作業」の一つなのです。

1000人以上いるらしく受刑者が3日に1回としても、全員に入浴の「作業」をさせるためには昼からでないと間に合わないようです。大助さんは面会室に旧知の人に会うようにニコニコしながら入って来ました。直接話が出来たことは意義のあることで「見たこともない人」を支援するのは格段の差があると思います。鎌倉でも支援する会の結成が間近です。私たちが精一杯やりますからね」と言って20分の面会を終わりました。高橋さん 同行菅原、山岸 (救神奈川)。北川 戸賀 (救千葉)

○●面会前後も文通をお願いします!



◆待合室で大助さんに聞くことを相談して1時間30分も待たされましたが、元気な顔で現れました。

車中で読んでいた「起訴状」逮捕当時の「併解録取書」「警察調書」などの話で20分が過ぎてしまった。支部中心に「大助さんを守る会」作ると言うなら立ち上げる前に一度大助さんに面会しよう決めて、支部役員中心に4名で参加をしました。

磯田さん

9月26日(月)薄曇り ご両親

面会室に入るなりニコニコしており気持ちも幾分昂揚していたように感じました。

大助としては弁護士選任届が届くまで外部からの情報がバラバラで気持ちが滅入っていたこともあり、待ちに待った再審弁護団の名簿が届き、郵送したので一区切りがつきほっとしたのか、確定審の弁護人も入ってくれ再審請求が目前で内心気持ちの整理が出来、勿論最終弁護団の増減も承知していると言っていました。

全国交流会が180名参加されて盛り上がり、全国連絡会の準備会も進められることも自信につながっております。

★9月20日(佐藤、川上 徳島)晴

大助さんとは二度目の面会。彼が宮城の拘置所にいた2008年の冬でした。刑がまだ確定してない時期、色白で長髪、綿入ればんでん姿の青年だったのを覚えてます。

今回は短髪の作業服姿、引き締まった顔、爽やかさは変わっていませんでした。お久しぶり、元気だね、靴造りはまあまあです。」の会話から全国交流会は北から南から180名も集まったことを伝えると表情が輝き!そんなに集まったんですか、うれしいです!。

再審請求は大震災で頓挫しているのは理解できるが申立が予定より遅れていることに穏やかでないことを伺わせていました。彼が平静さを維持出来るには領し、弁護団、支援者の存在の大きさも感じるさせられ、支援者の役割を再認識して、台風の中羽田を発ちました。

佐藤さん 現金と本を差し入れ。 同行戸賀

佐藤さんと川上さんは宮城での交流会と守さん宅など四泊五日の旅でした。ご苦労様です。(戸)

えん罪 仙台北陵クリニック事件とは
守大助さん(当時二九歳)が、勤務していた医療法人北陵クリニックに於いて、患者五人の点滴に筋弛緩剤マスキュラックスを混入したとして二〇〇一年に逮捕。
仙台拘置所に身柄を拘束されました。仙台地裁、高裁。最高裁で「無期懲役」が二〇〇八年二月二五日確定。二〇〇八年七月から千葉刑務所に服役中です。
しかし、大助さんには動機もなく5人の容体急変は筋弛緩剤の薬理効果とは矛盾し、科学鑑定も否定され、試料も警察に廃棄され再鑑定が妨害されている。
現在再審準備中



仙台での全国交流会の後の激励面会です。川上さんと佐藤さん(徳島)